

1、主な工事内容

①2重の安全対策

標識の落下防止対策をおこないます。



②トンネル内設備等の点検・補修

設備の点検や補修をおこないます。



③舗装補修工事

舗装の補修工事をおこないます。



2. 通行止め時のう回路

通行止め時に当該区間をご利用される場合のう回ルートは下記のとおりです。

道路名	通行止め区間	う回ルート	所要時間（通常交通状況）
紀勢道	勢和多気 JCT～ 紀伊長島 IC	【松阪 IC～勢和多気 JCT～紀伊長島 IC】 主要道松阪一志線、一般国道 166 号、 主要道松阪第二環状線、一般国道 42 号	【松阪 IC～紀伊長島 IC】 高速を利用の場合 約 35 分 一般道利用の場合 約 103 分
		【玉城 IC～勢和多気 JCT～紀伊長島 IC】 県道玉城南勢線、県道伊勢多気線 一般国道 42 号	【玉城 IC～紀伊長島 IC】 高速を利用の場合 約 32 分 一般道利用の場合 約 93 分
	勢和多気 IC～ 紀伊長島 IC	一般国道 42 号	高速を利用の場合 約 25 分 一般道利用の場合 約 72 分

広域全体図



3. 前回(平成27年3月25日夜間通行止) 実施した部分舗装補修箇所について

1. 概要

紀勢道 勢和多気 IC～大宮大台 IC 間の色太第四橋付近の盛土は、開通当初から路面の沈下が見られ、これまでも舗装補修を実施しておりました。

平成 27 年 3 月 25 日に、昨年の豪雨等の影響によると思われる沈下が確認されたことから、部分舗装補修を夜間通行止めにて実施しました。これまでの間、盛土のり面観測結果で変位が見られないことから、例年春に当該区間(暫定 2 車線)でトンネル内設備点検等で実施している夜間通行止め時に併せて本舗装補修を実施します。

2. 舗装補修実施の経緯

平成 18 年 3 月 開通

平成 19 年～

平成 26 年 これまで計 4 回舗装補修実施(トンネル点検等の通行止めと合わせて実施)

平成 26 年 8 月 台風 11 号による豪雨(連続雨量 431.5mm、時間最大降雨量 59.0mm)

勢和多気 IC～大宮大台 IC 間 通行止め

平成 26 年 9 月 路面の沈下及び盛土のり面の変位を確認(変位は通行止め基準以下であり、通行の安全性に問題は無し。)学識経験者から、盛土のり面に水抜きボーリング、グランドアンカーによる対策を実施するべきとの意見あり。学識経験者の意見を受け、水抜きボーリング、グランドアンカー施工を速やかに実施し、その後変状の推移を見極めて舗装補修を実施する方針決定

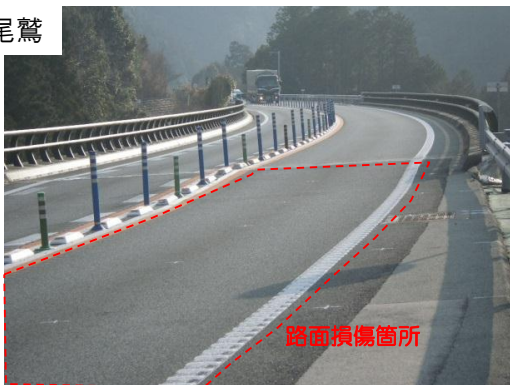
平成 27 年 1 月 盛土のり面への水抜きボーリング、グランドアンカーの対策完了

平成 27 年 3 月 対策完了後、変位が収束したことから部分舗装補修を実施

平成 27 年 4 月 盛土のり面への押え盛土工完了

平成 27 年 6 月 本舗装補修を実施(春の夜間通行止め)予定。

至尾鷲



至名古屋

前回舗装補修 (H27.3.25) 前

至尾鷲



至名古屋

前回舗装補修 (H27.3.25) 後